

運委参第466号  
平成27年2月26日

株式会社IHI  
執行役員  
航空宇宙事業本部長 殿

運輸安全委員会  
委員長 後藤 昇弘

株式会社ジェイエア所属ボンバルディア式CL-600-2B19型  
JA206Jの重大インシデントに係る勧告について

本重大インシデントにおいて、発動機の防火区域内に火炎が発生した原因は、右エンジンのフューエルマニホールドと14番フューエルインジェクターを接続するカップリングナットが緩んだため、その部分から燃料が漏れエンジンの熱により発火し、火炎が発生したものと推定される。カップリングナットが緩んだことについては、カップリングナットの締付け力が不足していたため、エンジンの振動などにより徐々に緩みが発生した可能性が考えられるが、緩みの原因を特定することはできなかった。しかし、本重大インシデント発生後に行った同型式エンジンの一斉点検26台のうち、3台に規定値を外れる緩みが見つかっており、いずれも貴社が分解検査を行ったエンジンであった。

当委員会は、本重大インシデントの調査結果を踏まえ、運輸安全委員会設置法第27条第1項の規定に基づき、貴社に対し、下記のとおり勧告する。

また、同条第2項の規定に基づき、講じた措置についての報告を求める。

#### 記

エンジンの分解整備時において、インジェクターとマニホールドの接続カップリングナットの締付け等の安全上重要な作業が確実に実施される体制となっているか、再点検を行うこと。